



図書館だより

7月号

大鳥中学校

みなさんは雨の日をどのように過ごしているでしょうか。室内で過ごす時間が増えて、何か本を読もうかなという気持ちになっている人がいてくれたら嬉しいです。雨の日にしつとりと楽しむ読書も楽しいものですし、反対にカラッとした気分になれる本で気分転換してみるのもいいでしょう。



七夕は、織姫と彦星が1年に一度だけ会えると言い伝えられている日。この部分だけを聞くと、織姫と彦星が何だか気の毒な境遇に置かれていた印象ですが「なぜ、織姫と彦星が1年に一度しか会えなくなってしまったのか?」を知っている人はどのくらいますか?…

「めでたく夫婦となったが夫婦生活が楽しく、織姫は機を織らなくなり、夏彦(彦星)は牛を追わなくなった。このため天帝は怒り、二人を天の川を隔てて引き離したが、年に1度、7月7日だけ天帝は会うことをゆるし、天の川にどこからかやってきたカササギが橋を架ってくれ会うことができた。

しかし7月7日に雨が降ると天の川の水かさが増し、織姫は渡ることができず夏彦も彼女に会うことができない。

また、この日に降る雨は催涙雨とも呼ばれる。催涙雨は織姫と夏彦が流す涙といわれている。

【ウィキペディア「織女星(織姫)と牽牛星(彦星)の伝説」より】



7月は文月ということで「3行ラブレター」はご存知ですか？

相手に気持ちを伝える文章は、長ければ良いというものではなさそうです。短い文章で、要点を的確に伝え、さらに相手の印象に深く残るという観点で、とても参考になる「3行ラブレター」。もともとは日本語文章能力検定協会（文検）主催の「心に響く三行ラブレター」が始まりました。1999年から毎年行われていた人気のコンテストでしたが、文検自体の活動休止に伴い、2009年に強制終了しました。

日本テレビで放映された「人生が変わる1分間の深イイ話」の人気企画にも「3行ラブレター」のコーナーがありました。3行ラブレターと言えば深イイ話と、連想される方も多いかもしれませんね。

では、3行ラブレターを3作品紹介します。

君からメールが届いた
「元気？」って…
たった今、元気になった

君と1回でも話せた日は
とっても嬉しいから
コンビニのおつり 募金してます

君の事思い出した日なんてないよ
・・・
君の事忘れた事がないから。

Recommended Book

B933-ク『オリエント急行の殺人』 アガサ・クリスティー 著 早川書房

本作はミステリーの女王と呼ばれるアガサ・クリスティーの代表作の1つ。雪で立ち往生したオリエント急行の中で発見された乗客の刺殺体。乗客全員にアリバイがあるが、外部から侵入者があった形跡もない。犯人の使った大胆かつ衝撃的なトリックを名探偵ポワロは暴けるのか！？